

連載 講座

地域防災実戦ノウハウ(41)

—実践的な防災訓練を目指して

(その18)—

Blog 防災・危機管理トレーニング

主宰 日野宗門

1. はじめに

前回までは、状況予測型(状況シナリオ創出型)図上訓練の進め方や評価・検証のポイントなどについて実例を交えながら解説してきましたが、今回からは状況シナリオ付与型図上訓練を取り上げ、市町村において簡便に実施するための方法・留意点などを具体的に述べていこうと思います。

既にご存知のとおり、状況シナリオ付与型図上訓練は、災害時に予想される事案・状況等を記述したシナリオ(文章)を進行管理者から訓練参加者へ付与し、それに対し(それを前提に)訓練参加者が行うべき意思決定、役割行動を回答することにより訓練を進行させる形式です。

この図上訓練は、表1に示す分類では訓練名称欄の①に該当します。以下では、この表の分類に基づき概要を示します。

2. 状況シナリオ付与型図上訓練—基本タイプ—の概要

訓練参加者が少人数(少グループ)の場合、下記の例に示すような「状況シナリオ」を進行管理者から訓練参加者に付与し、訓練参加者がそれに対し必要と思われる意思決定等を行います。これを両者間で繰り返すことにより訓練を進行させるタイプです。

このように、「進行管理者」対「訓練参加者」という二者間のやりとりのみで進行するため、単純ですが状況シナリオ付与型図上訓練の基本となるタイプです。

以下の3及び4で解説する「ロールプレイング方式の図上訓練」や「図上シミュレーション訓練」は、上記の基本タイプを多数の関係機関を対象にした図上訓練用に発展させたタイプといえます。

表1 図上訓練の種類 —状況付与型と状況予測型—

状況付与の有無	状況付与の手段・方法	訓練名称
状況付与型図上訓練 (状況付与あり)	シナリオ（文章、テキスト）で状況付与	① 状況シナリオ付与型図上訓練 ア 基本タイプ イ 発展タイプ 例：ロールプレイング方式の図上訓練 図上シミュレーション訓練
	管内図で状況付与	② 図上訓練（狭義） 例：DIG（ディグ）
	パソコン等の表示画面で各種情報を表示	③ 情報リテラシー訓練 ア テキスト（文章）表示型訓練 イ 画像表示型訓練
状況予測型図上訓練 (状況付与最小限)	—	④ 状況シナリオ創出型図上訓練
	—	⑤ ビジョン型図上訓練 ア 正順型 イ 逆順型

(注) 本表は、連載第32回で掲載した表に加筆修正したものです。

〔例1〕死傷者への対応を問う状況シナリオ

△△駅構内で地震による電車の脱線・転覆のため多数の死傷者が発生している模様である。

〔例2〕避難者への対応を問う状況シナリオ

〇〇小学校に100名の被災者が避難している。避難者の数は今後も増えそうである。最低でも数日間の避難が見込まれる。

3. 状況シナリオ付与型図上訓練—ロールプレイング方式の図上訓練—の概要

ロールプレイング方式の図上訓練では、進行管理者(コントローラーまたは統裁部ということが多い)側は、電話、無線を用いた口頭での状況付与や FAX を用いた文書での状況付与など現実の手段をできるだけ活用して状況付与を行い、訓練参加者(プレイヤーまたは演習部ということが多い)がそれに対応していく形で進行します。このとき、進行管理者側では、訓練参加者からの報告・問合せにも(関係者、関係機関になりきって)対応します。色々な役回りをこなす必要があるため、進行管理者側の人数がそれなりに多くなる傾向があります。

なお、図上訓練のほとんどは多かれ少なかれ「役割行動や役割判断」を問うものですから、特定の図上訓練の呼称として「ロールプレイング方式の図上訓練」を用いるのは本来不適切と言えます。しかしながら、この名称で比較的浸透している現状を踏まえ、ここではそのまま使用しています。

4. 状況シナリオ付与型図上訓練—図上シミュレーション訓練—の概要

状況付与の手段として電話、無線、FAX などを使えない場合、又はこれらを使わずに状況付与を行ないたい場合は、図 1 に示す状況付与票を用います。あわせて、対応記録票(図 2 参照)、災害対応伝達票(図 3 参照)などを用いて訓練は行われます。対応記録票は、図 1 の状況付与票で付与された状況への対応を記載します。災害対応伝達票は、他の関係機関等に報告・指示・要請(照会)等を行う必要がある場合、即ち関係機関相互間でのやりとりを行なう場合に用います。

このような形式の図上訓練を「図上シミュレーション訓練」ということがあります。

No.	1		
状況付与先	〇〇消防本部、△△警察署		
付与時間	9:05	想定時間	9:20
発信元	住民	付与方法	手渡し
件名	〇〇駅前の密集地での火災		
付与事項			
<p>〇〇〇駅前で火災が発生。付近の飲食店街に延焼し始めている。住民は避難を始めている。</p>			

図1 状況付与票

記入者 所属 _____ 氏名 _____

No.	時刻	相手方	内 容

- * 記録票には付与された状況に対しとられた対応を記載するとともに、対応を判断するにあたって考慮された判断材料及び判断の根拠等を記入してください。
- * No. は「状況付与票」のNo. を記入してください。

図2 対応記録票

記入者 所属 _____
氏名 _____

伝達時刻	時 分	No.	状況区分	報告・指示・要請
相手方	機 関 名		氏 名	

- *伝達等の内容をわかりやすく簡潔に記載してください。
- *「No.」は状況付与票のNo. を記入してください。
- *複数の機関に伝達する場合は、相手方欄に各機関名を記載し、該当機関を○で囲い、それぞれに送付してください。

図3 災害対応伝達票 (例)

5. 図上シミュレーション訓練の簡略化について

3 及び 4 で示したいずれの図上訓練も進行管理者と訓練参加者間のやりとりだけでなく、訓練参加機関相互間のやりとりをも行わせることにより、訓練にふくらみを持たせています。この特徴から、これらは規模の大きな都道府県などの図上訓練に多く用いられています。訓練規模が大きいと図上訓練といえどもそれなりの準備が必要になるとともに、進行管理者側も複数の人員でもって対応することが普通です。特に、ロールプレイング方式の図上訓練では進行管理者側の人員が多くなる傾向があります。

この点、ロールプレイング方式の図上訓練よりも容易と思われる図上シミュレーション訓練ですが、市町村で導入するにはさらに簡略化する必要があります。次回からは、図上シミュレーション訓練の特徴を生かしながら市町村でも容易に行ないうる工夫・方法を解説していきます。